

日本語文法 2

授受表現 (やりもらい表現)

ものの授受表現

授受表現（やりもらい）

* 授受表現（やりもらい表現）

* 1、ものの授受表現（もののやりもらい）

* 『もの』に対する所有権の移動を表わす文法

* 2、動作の授受表現（動作のやりもらい）

* 動作によって生じる利益の交換を表わす文法

ものの授受表現

* 『もの』の授受表現（『もの』のやりもらい）

* 「あげる」「くれる」「もらう」の3つの動詞

上げる 呉れる 貰う

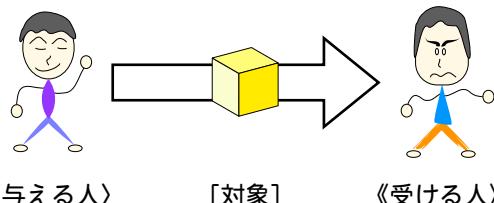
* 「あげる」「くれる」「もらう」の待遇表現

さしあげる くださる いただく
やる くれる もらう

上位の待遇
下位の待遇

授受動詞

- * 「あげる」「くれる」「もらう」
 - * 〈与える人〉が《受ける人》に [対象] を **あげる**
一人称NG
 - * 〈与える人〉が《受ける人》に [対象] を **くれる**
一人称および
ウチの関係の者
 - * 《受ける人》が 〈与える人〉に [対象] を **もらう**
一人称NG **から**



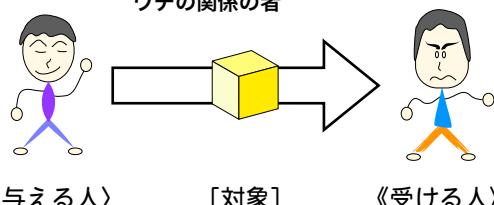
ジャックさんがチェンさんにプレゼントをあげる。

「あげる」

- * 〈与える人〉が《受ける人》に [対象] をあげる
一人称NG
- * 陳さんが王くんにプレゼントをあげる。
- * **わたし**が王くんにプレゼントをあげる。
わたしが王くんにプレゼントをあげる。
↓
* (省略) 王くんにプレゼントをあげる。
- * 陳さんが**わたしに**プレゼントをあげる
X一人称NG → 「くれる」を使う

「くれる」

- * 〈与える人〉が《受ける人》に [対象] をくれる
一人称NG



ジャックさんがわたしにプレゼントをくれる。

「くれる」

- * 〈与える人〉が《受ける人》に [対象] をくれる
一人称NG
一人称および
ウチの関係の者
- * 陳さんがわたしにプレゼントをくれる。
一人称
- * 陳さんが□弟にプレゼントをくれる。
ウチの関係の者
- * □わたしが王くんにプレゼントをくれる。
一人称NG
- * 陳さんが□王くんにプレゼントをくれる
X 一人称および
ウチの関係の者 以外NG

「くれる」

- * 〈与える人〉が《受ける人》に [対象] をくれる
一人称NG
一人称および
ウチの関係の者
- * 陳さんがわたしにプレゼントをくれる。
一人称
- * 陳さんが□弟にプレゼントをくれる。
ウチの関係の者
- * 陳さんが□太郎にプレゼントをくれる。
ウチの関係の者
→ 「太郎」はウチの関係の者
子供などの身内の名前

ウチの関係の者

- * ウチの関係の者
- * 自分と同じグループに属する者
 - * 家族（親、子、兄弟、祖父母、配偶者……）
 - * 親類（おじ、おば、いとこ……）
 - * 関係の深い者（恋人……）
 - * 同じ会社のメンバー（同僚、上司）

「くれる」

- * 〈与える人〉が《受ける人》に〔対象〕を【くれる】
一人称NG 一人称および
ウチの関係の者
- * 陳さんが【わたしに】プレゼントをくれる。
一人称
- * 陳さんが【（省略）】プレゼントをくれる。
→省略されているのは「わたし」／「わたしたち」

「くれる」を用いた授受表現では、
二格は「わたし（たち）」かウチの関係の者に限られる

「あげる」と「くれる」

- * <与える人> が《受ける人》に [対象] をあげる

↑
視点

- * <与える人> が《受ける人》に [対象] をくれる

↑
視点

主語が〈与える人〉である点では同じだが、
どちらに視点を置いて表現するかという点で違いがある

「あげる」と「くれる」

- * <与える人> が《受ける人》に [対象] をあげる

視点

- * <与える人> が《受ける人》に [対象] をくれる

視点

* 私が王くんに香水をあげる。

* 王くんが私にビールをあげる。

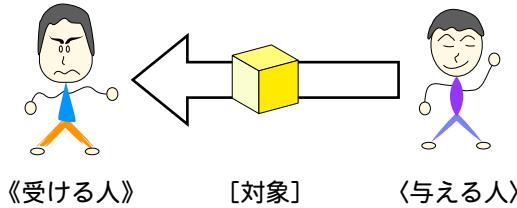
* 私が王くんに香水をくれる。

* 王くんが私にビールをくれる。

視点のない位置には「私」は使えない

「もらう」

- * 《受ける人》が 〈与える人〉^に [対象] を **もらう**
一人称NG **から**



チェンさんがジャックさんにプレゼントをもらう。

「もらう」

- * 《受ける人》が 〈与える人〉^に [対象] を **もらう**
一人称NG **から**

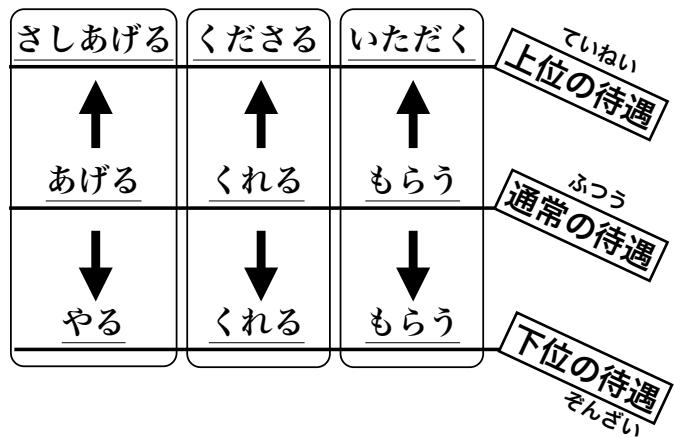
* 陳さんが 王くんに プレゼントをもらう。

* **わたし**が 王くんに プレゼントをもらう。

* **(省略)** 王くんに プレゼントをもらう。

* 王くんが **わたし**に **プレゼントをもらう**。
一人称NG

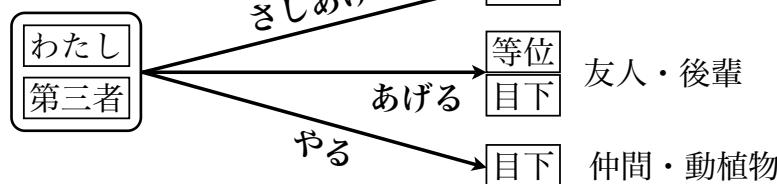
授受動詞の待遇表現



「あげる」の系統

* 「さしあげる」「あげる」「やる」

主語 (が)



* くだけた会話以外では、目下にも「あげる」を使う

「あげる」の待遇表現

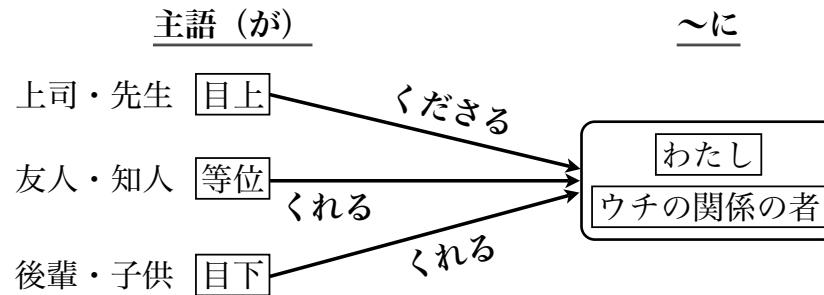
- * (私が) 先生にビールや焼酎やワインをさしあげる。
 - * 妻さんは金さんにキムチをあげた。
 - * Qさんが若い娘におこづかいをあげる。
 - * (私が) 子どもにお菓子をあげる（／やる）。
 - * そんなにほしいんなら、(俺が、お前に) やるよ。
 - * (私が) 植木に水をやる。
 - * (私が) ペットにエサをやる。

「さしあげる」の用法

- * 「さしあげる」→「あげる」の謙譲語
 - * 大げさな感じなので直接は使いにくい
 - * ? 「ビールをさしあげますので、飲んでください。
→『懶懶無礼（いんぎんぶれい）』と思われる恐れがある
 - * ◎ 「ビールです。飲んでください。」
 - * 謙譲の意味が薄い用法もある（丁寧語的）
 - * 「10ポイントで記念品をさしあげます。」
→ていねいな気持ちはあるが、へりくだらぬ気持ちはない

「くれる」の系統

* 「くださる」「くれる」「くれる」



「くれる」の待遇表現

* 先生が（私に）文法の参考書をくださいました。

* いつも厳しい先生が（私に）100点をくださいました。

* 友だちが（私に）誕生日プレゼントをくれました。

* アメリカ人が弟にチョコレートをくれました。

* クラスマートが健太郎にマンガをくれました。

* 娘たちが（私に）父の日にネクタイをくれました。

けいひご 軽卑語 「くれる」

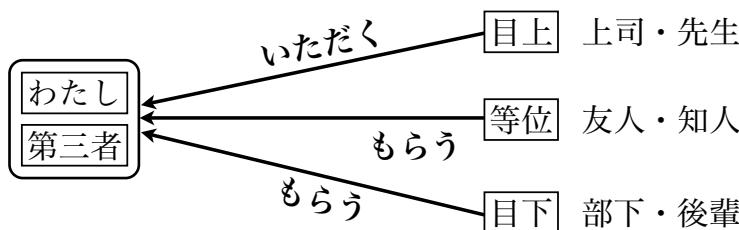
- * 「くれる」 → 一般に「私」は主語にならない
- * 「私」が主語となる用法がある → 〈軽卑語〉
- * そんな端金、(私が)お前にくれてやる！
- * うるさいと(私がお前に)ゲンコツをくれるぞ。
- * (私が)乞食にガムの残りをくれてやった。
- 相手を侮蔑・軽視する気持ちを含む表現

「もうう」の系統

- * 「いただく」「もうう」「もうう」

主語 (が)

～に／～から



「もうう」の待遇表現

- * (私が) 部長に海外出張のお土産をいただいた。
 - * (私たちが) お客様からお誉めの言葉をいただいた。
 - * 日本に住んでいるユリさんに、絵はがきをもらった。
 - * (私が) 自動発行機で(学校から) 証明書をもらう。
 - * 商品を買って(私がお店から) ポイントをもらう。
 - * (私が) 子どもに『肩たたき券』をもらった。

授受表現

(やりもらい表現)

動作の授受表現

授受表現（やりもらい）

* 授受表現（やりもらい表現）

* 1、ものの授受表現（もののやりもらい）

* 『もの』に対する所有権の移動を表わす文法

* 2、動作の授受表現（動作のやりもらい）

* 動作によって生じる利益の交換を表わす文法

動作の授受表現

* 『動作』の授受表現（『動作』のやりもらい）

* 「（～て）あげる」「（～て）くれる」「（～て）もらう」の3つの補助動詞

* 「（～て）あげる」「（～て）くれる」「（～て）もらう」の補助動詞の待遇表現

（～て）さしあげる （～て）くださる （～て）いただく ついでに
（～て）やる （～て）くれる （～て）もらう そんざい

上位の待遇

下位の待遇

授受動詞（補助動詞）

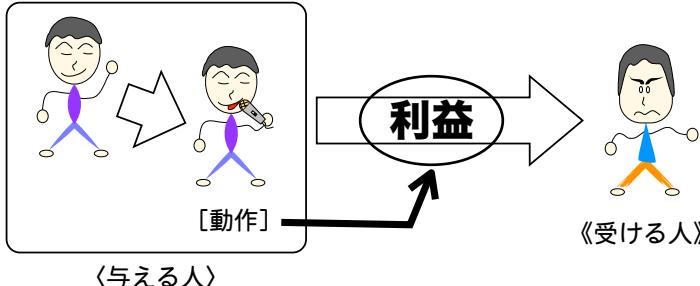
- * 「(て) あげる」 「(て)くれる」 「(て) もらう」
- * 〈与える人〉が《受ける人》助詞【動作】**てあげる**
一人称NG
- * 〈与える人〉が《受ける人》助詞【動作】**てくれる**
一人称および
ウチの関係の者
- * 《受ける人》が〈与える人〉に [動作] **てもらう**
一人称NG

補助動詞

- * もともとの意味ではなく、抽象的意味を付加する
- * 他の動詞（本動詞）の『テ形』に続けて使われる
- * 「食べてみる」 → 〈眼で見る〉という意味はない
- * 「食べてみる」 → 《試みる》の意味を付け加える
- * 一般に、平仮名で表記される（「×食べて見る」）

「～てあげる」

- * <与える人> が <受ける人> [助詞] [動作] てあげる
一人称NG



ジャックさんがチェンさんに歌を歌ってあげる。

「～てあげる」の格助詞

- * <与える人> が <受ける人> [助詞] [動作] てあげる
- * 動詞に『相手に働きかける』意味がある場合
- * <受ける人> の格助詞は一般の能動文と同じ
 - * 陳さんが林さんにステーキをごちそうしてあげる。
↑ 陳さんが林さんにステーキを **ごちそうする**。
 - * ジェフさんが両親を旅行に連れていくてあげる。
↑ ジェフさんが両親を **連れていく**。

「～てあげる」の格助詞

- * <与える人> が 《受ける人》 [助詞] [動作] てあげる
- * 動詞に『相手に働きかける』意味がない場合
- * 《受ける人》の格助詞は「に」を使う
 - * ジャックさんが チェンさんに 歌を歌ってあげる。
↑ ジャックさんが 歌を歌う。
 - * お姉さんが 妹に アニメのDVDを買ってあげる
↑ お姉さんが アニメのDVDを買う。

「～てくれる」

- * <与える人> が 《受ける人》 [助詞] [動作] てくれる
 - 一人称NG
 - 一人称および
ウチの関係の者
-
- 【動作】
- 《受ける人》
- 〈与える人〉
- ジャックさんがわたしに歌を歌ってくれる。

「～てくれる」の格助詞

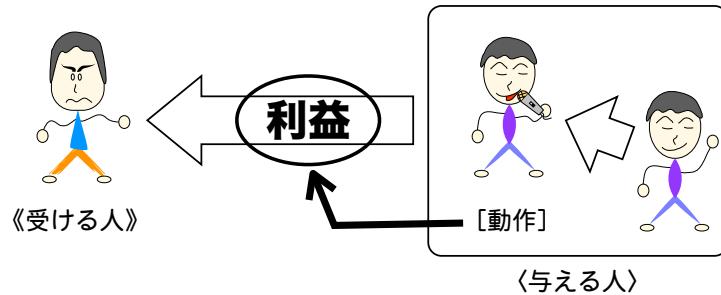
- * 〈与える人〉が《受ける人》[助詞] [動作] てくれる
- * 動詞に『相手に働きかける』意味がある場合
- * 《受ける人》の格助詞は一般の能動文と同じ
 - * 黄さんが私の妹にすき焼をごちそうしてくれる。
↑黄さんが私の妹にすき焼をごちそうする。
 - * クックさんが私たちを旅行に連れていくてくれる。
↑クックさんが私たちを旅行に連れていく。

「～てくれる」の格助詞

- * 〈与える人〉が《受ける人》[助詞] [動作] てくれる
- * 動詞に『相手に働きかける』意味がない場合
- * 《受ける人》の格助詞は「に」を使う
 - * ジャックさんが（私に）歌を歌ってくれる。
↑ジャックさんが 歌を歌う。
 - * アンさんが（私たちに）おみやげを買っててくれる
↑アンさんが おみやげを買う。

「～てもらう」

- * 《受け人》が 〈与える人〉 に [動作] てもらう
一人称NG



チェンさんがジャックさんに歌を歌ってもらう。

「～てもらう」の格助詞

- * 《受け人》が 〈与える人〉 に [動作] てもらう
一人称NG

- * 動詞の種類に関わりなく、格助詞は「に」を使う

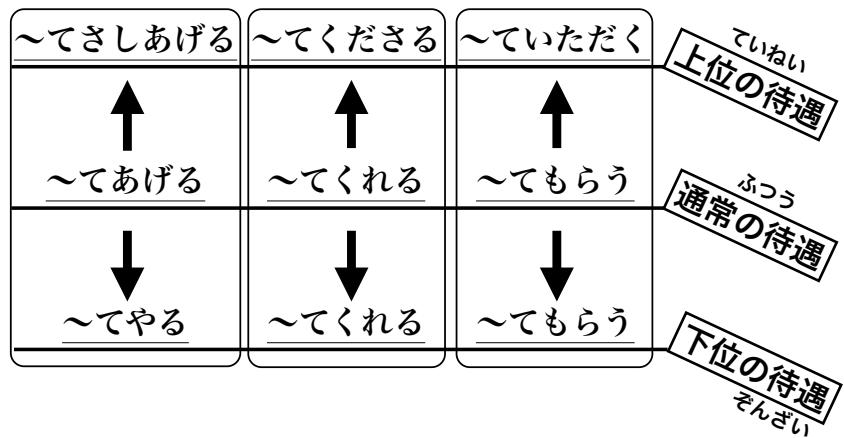
* 楊さんは王さんに教科書を貸してもらう。

↑ 王さんが楊さんに教科書を貸す。

* チェンさんがジャックさん⑩歌を歌ってもらう。

↑ ジャックさんが歌を歌う。

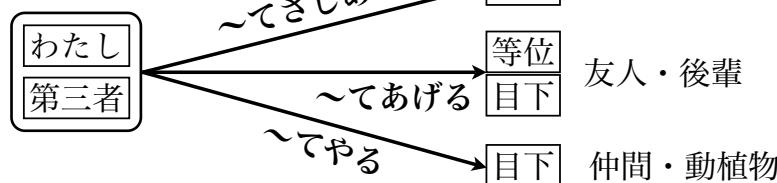
授受動詞の待遇表現



「～てあげる」の系統

* 「～てさしあげる」「～てあげる」「～てやる」

主語 (が)



* ただけた会話以外は、目下にも「～てあげる」を使う

「～てあげる」の待遇表現

- * (私たちが) 先生を案内してさしあげる。
 - * お兄さんはユリさんを家まで送ってあげる。
 - * 王くんが、彼女にカメラを買ってあげる。
 - * 母親が子どもに絵本を読んであげる（／でやる）。
 - * (私が) 子どもたちに算数の勉強を教えてやる。
 - * (俺が) (お前を) 壊ってやる。
 - * おぼれている犬を助けてやる。

「～てあげる」の用法

- * 同位者には「～てあげる」を直接使わない方がよい
 - * 自分が相手に感謝を強要しているように感じられる
 - * × 「(私が) やってあげます。」
 - * ◎ 「(私が) やります。」
 - * × 「貸してあげましょうか？」
 - * ◎ 「貸しましょうか？」
 - * 上位者への「てさしあげる」についても同じである

「～てさしあげる」の用法

- * 上位者に「～てさしあげる」を直接使わない方がよい
 - * 尊大だと思われて、失礼にあたる恐れがあるので注意
 - * × 「(私が) 案内してきしあげます。」
 - * ◎ 「(私が) ご案内(いた)します。」
 - * × 「送ってきしあげましょうか？」
 - * ◎ 「お送り(いた)しましょうか？」
 - * 同位者への「てあげる」についても同じである

「～てやる」の用法

- * 〈与える人〉が『私』の場合は軽卑語的な語感がある
 - * 学生たちに食事をおごってやる。
 - * 「くれてやる」の形では、専ら軽卑語として使われる
 - * こんな安物、お前にくれてやる。
 - * 〈与える人〉が第三者の場合は下位者として待遇する
 - * 親が子どもに人生の意味を教えてやる。

不利益を表わす用法

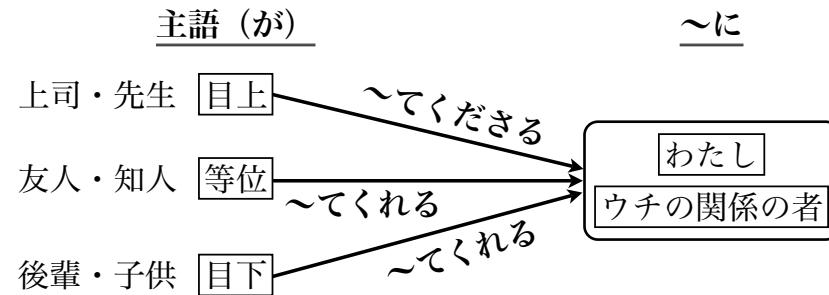
- * 動作の授受表現は一般に『利益』の交換を表わす
- * 「～やる」では『不利益』を表わす用法がある
 - * ウソばかり言う男は殴ってやる。
 - * 無能な社員をクビにしてやった。
- * 文脈によっては「～あげる」も『不利益』を表わす
 - * 勉強しない人たちには、みんな落としてあげる。
- * 「～さしあげる」に『不利益』の用法はない

決意を表わす用法

- * 動作の授受表現は一般に『利益』の交換を表わす
- * 「～やる」では『決意』を表わす用法がある
 - * 次の能力試験では、必ず2級に合格してやる。
 - * 将来、絶対金持ちになってやる！
 - * 主語はかならず「私」となる（「私」以外不可）
- * 「～あげる」には『決意』を表わす用法はない
- * 「～さしあげる」には『決意』を表わす用法はない

「～てくれる」の系統

- * 「～てくださる」「～てくれる」「～てくれる」



「～てくれる」の待遇表現

- * 先生が（私に）経営の基本を教えてくださった。
- * 社長と会長が私たちと食事をしてくださった。
- * 友だちが（私に）単語の意味を調べてくれた。
- * 高くんが、妹にショートケーキを買ってくれた。
- * 山田さんが息子に日本のマンガを送ってくれた。
- * 娘たちが（私を）玄関で出迎えてくれた。

無意志的行為による利益

- * 「～くれる」には、他者の無意志的な行為によって生じる利益を表わす用法がある
 - * (天気が) 晴れてくれて、よかったです。
 - * 先生が小テストの予定を忘れてくれた。

→ 動作主体には利益を与える意志はないが、結果として主語に利益が生じる意味を表わす

不利益を表わす用法

- * 動作の授受表現は一般に『利益』の交換を表わす
 - * 「～くれる」では『不利益』を表わす用法がある
 - * 事務員が、また大きな失敗をしてくれた。
 - * ずいぶんと言ってくれる (=ひどいことを言う) ね。
 - * 軽卑語として「私」が主語になることもある
 - * 今度こそ無能な事務員をクビをしてくれれる。
 - * 「～くださる」に『不利益』の用法はない

指示を表わす用法

- * 「～てくれる」は命令形で『指示』を表わす
 - * この書類を少し多めにコピーしてくれ。
 - * おいおい。冗談は顔だけにしてくれよ。
- * 「～てくださる」も命令形で『指示』を表わす
- * 「～てください」でていねいな『指示』を表わす
 - * 明日は8時までにきてください。
 - * もう少しだけ待ってください。

依頼を表わす用法

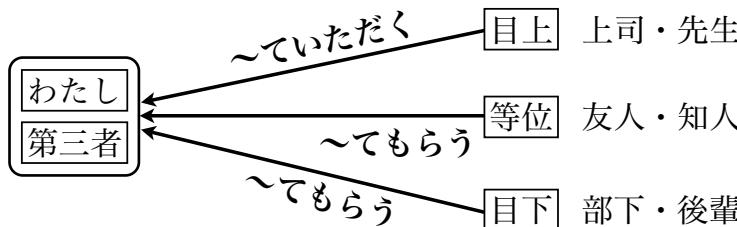
- * 「～てくれる」「～くださる」の疑問文は依頼となる
 - * この荷物を家まで届けてくれますか？
 - * この荷物を家まで届けてくださいますか？
- * 否定形の疑問文では、よりていねいな依頼を表わす
 - * 駅までの道を教えてくれませんか？
 - * 駅までの道を教えてくださいませんか？

「～てもらう」の系統

- * 「～ていただく」「～てもらう」「～てもららう」

主語 (が)

～に／～から



「～てもらう」の待遇表現

- * (私が) 部長の奥様に日本舞踊を教えて**いただ**く。
- * (私は) 先生に作文を見**ていただ**いた。
- * 父に学校まで送つ**てもら**った。
- * 日本の友だちに、新しい雑誌を送つ**てもら**った。
- * 占い師にお店の名前を考**えてもら**う。
- * 妹に写真を撮つ**てもら**う。

要求を表わす用法

- * 動作の授受表現は一般に『利益』の交換を表わす
 - * 「～もらう」では『要求』を表わす用法がある
 - * 彼には会社をやめてもらう。
 - * ちゃんとお金を払ってもらいます。
 - * 「～いただく」にも『要求』を表わす用法がある
 - * あなたには、しばらく休んでいただく。
 - * 返品の際の送料は負担していただきます。

依頼を表わす用法

- * 「～もらう」は、可能態の疑問文で依頼を表わす
 - * A4のファイルを買ってきてもらえますか？
 - * 否定形の疑問文はよりていねいな依頼を表わす
 - * 少しだけお金を貸してもらえませんか？
 - * 「～いただく」にも同様の用法がある
 - * 私が書いた文をチェックしていただけますか？
 - * もう少し詳しく説明していただけませんか？

許可を求める用法

- * 動作の授受表現は一般に『利益』の交換を表わす
- * 「～もらう」には『許可を求める』用法がある
- * 希望を表わす「～たい」を使って 許可を求める
 - * ちょっと教えてもらいたいんですが。
 - * トイレを貸してもらいたいのですが。
- * 「～いただく」にも『許可を求める』用法がある
 - * 三日ほど待っていただきたいのですが。

使役やりもらい

- * 許容使役に授受動詞が接続したもの→使役やりもらい
 - * 子どもに、好きなことをやらせてあげる。
 - * 娘を語学留学に行かせてやる。
 - * 社長さんに松阪牛のすき焼を食べさせてもらう。
 - * 明日から1週間ほど休ませていただきます。
 - * 友だちが部屋の掃除を手伝ってくれた。
 - * 教授が貴重な文献を読ませてくださった。

使役やりもらいの用法

* 使役やりもらいで『依頼』を表わす

* 月曜日まで休ませていただけますか？ [依頼]

* 資料の整理を手伝ってもらえないませんか。 [依頼]

* もう少し飲ませてくださいませんか。 [依頼]

* 使役やりもらいで『許可を求める』意味を表わす

* 仕事を休ませてもらいたいのですが。 [許可]

おわり